

大臣折衝事項

令和 4 年度外務省予算について、普遍的価値を守り抜き、国際社会を主導する外交を一層展開するため、以下のとおり重点的な予算措置を行うこと。

- ・ 新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策の主導、気候変動を含む地球規模課題への対応、「質の高いインフラ」整備等を通じた「自由で開かれたインド太平洋」の実現にとって不可欠なツールである ODA に関し、事業の実施に必要な二国間協力予算を確保すること。(46 億円)
- ・ 在留邦人の「最後の砦」である在外公館施設について、その整備や警備体制の強化を推進するとともに、感染症拡大や国際社会における政情の不安定化等を始めとする緊急事態に迅速に対応するため、在留邦人の保護・支援に万全を期すこと。さらに、機動的な外交・領事実施体制を確保するため、デジタル化を集中的に推進すること。(18 億円)